

七夕は年に三回ある？

7月7日

連日九州地方を襲っている集中豪雨で被害を受けられた方々に心からお見舞いを申し上げます。

今日は七夕です。子供のころに聞いた織姫と彦星の話からどうしても天候が気になりますが、今日もあいにくの空模様で晴天は期待できそうもありません。集中豪雨により大きな被害がでていの中で、いささか能天気すぎるかと思いつつも、今日は七夕の天気について書きます。

七夕の天気について調べようとネットで検索をすると、「過去 10 年の天気は・・・」というような記事が見つかり、大体「曇りや雨が長く、梅雨時なので無理もありません」というような内容になっています。確かにその通りですが、それにしても、一年に一度しか逢えないのに、その成否を梅雨時の天候に任せてしまうというのはあまりにも確率が悪すぎるのではないかと思わざるを得ません。しかし、七夕が梅雨時というのは、あくまで新暦（太陽暦）の話であって、古来からの旧暦（太陰暦）では、時期が違うのではと気づきました。であればと、過去 30 年の旧暦の 7 月 7 日の天気を調べて、新暦の 7 月 7 日の天気と比較してみました。

旧暦の 7 月 7 日が、新暦の何月何日にあたるのかは、年によって随分違います。そもそも旧暦（太陰暦）は、「月のみちかけを主な基準にしてきめた暦で、一か月を 29 日または 30 日とし、1 年を 12 か月、約 354 日と定め、更に、地球の周期に合わせるため、5 年に約 2 度の割で 1 年を 13 か月とし、ある月を二度繰り返す閏月を設けた」（コトバンク）暦なのです。下の表の最下段に過去 30 年の旧暦の 7 月 7 日が、新暦の何月何日にあたるのかを示していますが、最も早いのが 8 月 2 日で遅いのが 8 月 30 日でした。注意深く見ていくと、一年に 10-11 日づつ早くなり、突然 20 日前後遅くなり、これを繰り返しています。上の説明と合致しますね。これだといずれにしても梅雨は終わっている時期になります。

というところで下の表をご覧ください。一目瞭然です。

過去30年の新暦の7月7日と旧暦の7月7日の天気

年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
新暦7月7日の天候	曇	曇	曇	曇	曇	雨	曇	晴れ	曇	晴れ	曇	晴れ	曇	晴れ	曇	雨	晴れ	曇	曇	曇	雨	曇	雨	曇	雨	曇	晴れ	曇	晴れ	曇	雨	曇
旧暦7月7日の天候	晴れ	晴れ	曇	晴れ	晴れ	曇	曇	晴れ	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇	曇	曇	雨	晴れ	晴れ	曇	晴れ	曇	晴れ	晴れ	晴れ	曇	晴れ	曇	晴れ	曇	雨	曇
旧暦7月7日の新暦日付	8/26	8/16	8/5	8/24	8/13	8/3	8/20	8/9	8/28	8/17	8/6	8/25	8/15	8/4	8/22	8/11	8/30	8/19	8/7	8/26	8/16	8/6	8/24	8/13	8/2	8/20	8/9	8/25	8/17	8/7	8/25	

過去の天気は大雑把な表記しか分かりませんでしたので、晴れのときだけ天の川と織姫・彦星が逢えるとすれば、新暦の 7 月 7 日では 30 年中わずかに 7 日しか逢えませんでした、旧暦の 7 月 7 日では 30 年中 18 日も逢えたことになります。やはりこの話は、旧暦の 7 月 7 日の方が整合性があるように思われます。

今年の旧暦の 7 月 7 日は 8 月 25 日です。今日は残念ながら二人は逢えそうもありませんが、8 月 25 日にもう一度のチャンスを生かしてもらえればと思います。そうそう、忘れていましたが、地方ではひと月遅れの七夕もあるようですので、通常は 8 月 7 日も併せて都合 3 回のチャンスがあります。ただし去年は、旧暦の 7 月 7 日が 8 月 7 日でしたので、ひ

と月遅れの七夕と重なったしまい 2 回しかチャンスがありませんでしたが・・・ これは蛇足でした。

過去の天気は以下のサイトから調べました。

<https://weather.goo.ne.jp/past/662/00000802/>